

区民委員会報告資料

令和4年6月27日

報告事項件名	頁
1 ウクライナ避難民に対する生活支援一時金の支給について・・・・・・・・・・	2
2 公衆喫煙所の整備状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3 令和3年度3分野連携事業（「ちょいスポ」「ちょいカル」「ちょい読み」） の实施結果について・・・・・・・・・・	5
4 令和3年度スペシャルライフコートの利用実績報告について・・・・・・・・・・	8
5 令和3年度あだちスポーツコンシェルジュ相談実績の報告について・・・・・・・・	11
6 高野小学校跡地スポーツ施設の人工芝について・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
7 足立区スポーツ推進委員の委嘱について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
8 令和3年度「あだち電子図書館」の実績について・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
9 「あだちはじめてえほん」事業の令和3年度実績報告について・・・・・・・・・・	20

(地域のちから推進部)

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和4年6月27日

件 名	ウクライナ避難民に対する生活支援一時金の支給について
所管部課名	地域のちから推進部 地域調整課
内 容	<p>ウクライナから避難される方々への支援策として、当面の生活を支援するための一時支援金を支給することとなったので報告する。</p> <p>1 支給対象者（以下の2つを満たす者） (1) ウクライナからの避難民であると区長が認めた者 (2) 申請時点で足立区に居住し、かつ支給決定時点から1か月以上継続して居住見込みの者</p> <p>2 一時金の額 対象避難民1人につき10万円 ※ 支給は1回限り</p> <p>3 支給方法 現金給付または口座振込</p> <p>4 予算額 10万円×50人分＝500万円 ※ 東京都からの都営住宅割当数に基づき見込人数を算定</p> <p>5 申請・支給状況（6月17日現在） (1) 申請状況 9世帯15人 (2) 支給状況 8世帯13人</p> <p>6 避難された方から聞き取った困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国や日本財団の支援が受けられず、生活費に困っている ・ 電話番号が取得できずに困っている ・ インターネット環境への接続に不便を感じている ・ 公共交通機関を利用する際の交通費が負担になっている <p>7 支給窓口 地域のちから推進部 地域調整課 多文化共生担当</p>
問 題 点 今後の方針	避難民が1日でも早く安定した生活を送れるよう、連絡が可能な方には区側から手続きの案内を行い、早期の支給を目指す。

令和4年6月27日

<p>件名</p>	<p>公衆喫煙所の整備状況について</p>
<p>所管部課名</p>	<p>地域のちから推進部地域調整課</p>
<p>内容</p>	<p>令和4年度の整備予定およびこれまでの整備状況について、次のとおり報告する。</p> <p>1 令和4年度の整備予定</p> <p>(1) 見沼代親水公園駅</p> <p>ア 整備期間 (予定) 令和4年10月から 令和4年12月まで</p> <p>イ 整備箇所 見沼代親水公園駅 交通広場内</p> <p>ウ 喫煙所の種類 パーテーション型</p> <p>エ 利用開始時期 (予定) 令和5年1月</p>  <p>(2) 江北駅</p> <p>ア 整備期間 (予定) 令和4年10月から 令和4年12月まで</p> <p>イ 整備箇所 江北駅 交通広場内</p> <p>ウ 喫煙所の種類 パーテーション型</p> <p>エ 利用開始時期 (予定) 令和5年1月</p> 

(3) 北綾瀬駅

- ア 整備期間（予定）
令和4年10月から
令和5年夏頃まで
- イ 整備箇所
しょうぶ沼公園内
- ウ 喫煙所の種類
コンテナ型
- エ 利用開始時期（予定）
令和5年夏頃



2 これまでの整備状況

令和元年度から令和3年度までの3年間において、計12か所の整備を行った（「コンテナ型喫煙所」7か所、「パーテーション型喫煙所」5か所）。

No.	地区	整備時期	種類
1	梅島駅	令和元年度	コンテナ型
2	北千住駅東口	令和2年度	
3	西新井駅東口		
4	竹ノ塚駅東口		
5	牛田駅／京成関屋駅	令和3年度	
6	綾瀬駅東口		
7	江北地区	パーテーション型	
8	北千住駅西口		令和元年度
9	五反野駅（四家交差点）		令和2年度
10	北千住駅西口 （加熱式たばこ専用）		
11	綾瀬駅西口		
12	六町駅		

問題点
今後の方針

今後も、喫煙者の状況、区民の声等の地域のニーズを検証した上で候補地を定め、調整を進めていく。

区 民 委 員 会 報 告 資 料

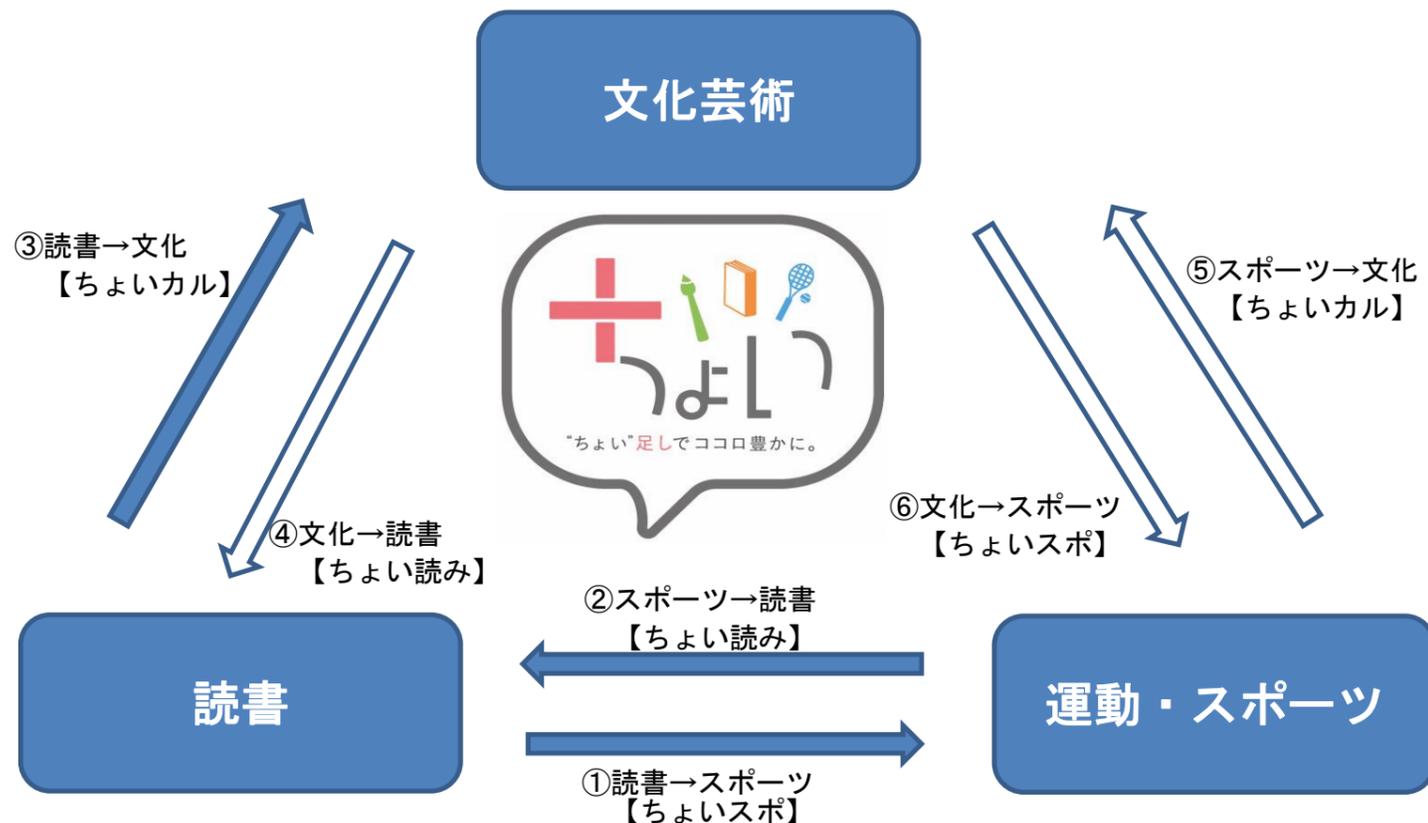
令和4年6月27日

件 名	令和3年度3分野連携事業（「ちょいスポ」「ちょいカル」「ちょい読み」）の実施結果について																	
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室地域文化課、生涯学習支援課、3分野連携担当課、スポーツ振興課、中央図書館																	
内 容	<p>文化・読書・スポーツの連携により各分野に親しむ人を増やし、共通理念「楽しさに気づき、深め、広げ、心豊かに生きる」を実現するために、令和3年度3分野連携事業を次のとおり実施した。</p> <p>1 実施時期 令和3年8月～令和3年12月</p> <p>2 実施場所 15か所（生涯学習センター、地域学習センター13か所、江南コミュニティ図書館）</p> <p>3 プログラム実施回数及び参加人数 実施回数 752回 参加人数 5,954人（のべ人数）</p> <p>4 アンケート調査の概要</p> <p>（1）調査期間 令和3年8月1日 ～ 令和4年2月13日</p> <p>（2）主な対象及び回答者数 対 象 20～40歳代の子育て世代 回答者数 1,251件（事前）、292件（事後）</p> <p>（3）主な分析 「スポーツ」「文化芸術」「読書」の各活動に関する行動変容ステージを下表のとおり定義し、事業の実施前後での「実施層」の割合の変化を確認した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 70%;">1 私は現在、定期的に〇〇*をしています。また、6か月以上継続しています。</td> <td style="width: 15%;">維持期</td> <td style="width: 15%;">実施層</td> </tr> <tr> <td>2 私は現在、定期的に〇〇をしています。しかし、始めてから6か月未満です。</td> <td>実行期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 私は現在、〇〇をしています。しかし、定期的ではありません。</td> <td>準備期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 私は現在、〇〇をしていません。しかし、近い将来に始めたいと思っています。</td> <td>関心期</td> <td>未実施層</td> </tr> <tr> <td>5 私は現在、〇〇をしていません。また、この先、するつもりもありません。</td> <td>無関心期</td> <td></td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">※ 「スポーツ」「文化芸術活動」「読書」のいずれかが入る。</p>			1 私は現在、定期的に〇〇*をしています。また、6か月以上継続しています。	維持期	実施層	2 私は現在、定期的に〇〇をしています。しかし、始めてから6か月未満です。	実行期		3 私は現在、〇〇をしています。しかし、定期的ではありません。	準備期		4 私は現在、〇〇をしていません。しかし、近い将来に始めたいと思っています。	関心期	未実施層	5 私は現在、〇〇をしていません。また、この先、するつもりもありません。	無関心期	
1 私は現在、定期的に〇〇*をしています。また、6か月以上継続しています。	維持期	実施層																
2 私は現在、定期的に〇〇をしています。しかし、始めてから6か月未満です。	実行期																	
3 私は現在、〇〇をしています。しかし、定期的ではありません。	準備期																	
4 私は現在、〇〇をしていません。しかし、近い将来に始めたいと思っています。	関心期	未実施層																
5 私は現在、〇〇をしていません。また、この先、するつもりもありません。	無関心期																	

	<p>5 成果及び今後の方向性</p> <p>(1) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プログラム参加者について、特に「ちょいスポ（読書・文化→スポーツ）」「ちょいカル（読書・スポーツ→文化）」に参加した場合に、事業実施後に実施層の割合が増える傾向を確認した。 ・ 現場職員からの声かけやLINE等による利用者への情報発信は、プログラム参加のきっかけや継続する動機づけとして有効であることがわかった。 ・ 体育施設など併設施設の有無によって、参加者の行動変容に大きな差異はないことを確認した。 <p>(2) 今後の方向性</p> <p>ア プログラムの魅力向上 現場職員が参加者との対話を心がけ、参加者の声からニーズの把握に努めていく。</p> <p>イ アナログとデジタルを併用した積極的な情報発信 体験講座への勧誘や次回案内等、対面での声かけのほか、LINE等を活用しながら積極的な参加・継続の動機づけを行う。</p> <p>ウ より効果的なターゲット設定の工夫 「ちょい読み（文化・スポーツ→読書）」については、他の2つのプログラムに比べて実施前後の変化が小さかった。プログラムの効果を高めるため、施設の利用実態に合わせてターゲットの設定を検討していく。</p>
<p>問 題 点 今後の方針</p>	<p>地域学習センター等の指定管理者との連携のもと、事業の質的向上を図るとともに、多彩なプログラムを用意し、新たな楽しみを見つける機会の創出に努めていく。</p>

3分野連携事業（ちょいスポ、ちょいカル、ちょい読み）実施イメージ

3分野連携事業は複合施設の強みを活かし、地域学習センターからはじまっています！



ちょいスポ（ねらい）

読書や文化芸術に親しむ人が運動・スポーツにも「ちょっと親しむ」こと



ちょいカル（ねらい）

読書や運動・スポーツに親しむ人が文化芸術にも「ちょっと親しむ」こと



ちょい読み（ねらい）

文化芸術や運動・スポーツに親しむ人が読書にも「ちょっと親しむ」こと



区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和4年6月27日

件 名	令和3年度スペシャルライフコートの利用実績報告について																																																																					
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課																																																																					
内 容	<p>令和3年度のスペシャルライフコート利用実績について、次のとおり報告する。</p> <p>1 概要</p> <p>令和3年度は、緊急事態宣言等による利用制限もあり、全体的に実績は低迷した。</p> <p>緊急事態宣言が解除されていた11月は、これまでアプローチを続けてきた特別支援学校の初利用や、新規の障がい者就労支援施設の利用もあり、障がい者利用者数は大きく伸びた。</p> <p>その後、再びまん延防止等重点措置期間となったが、3月後半に解除されたことにより、障がいのある方を含め増加傾向となっている。</p> <p style="text-align: center;">令和3年度 スペシャルライフコート利用実績</p> <p style="text-align: center;">(利用者延べ人数) 【単位：名】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">項 目</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 全利用者</td> <td>443</td> <td>0</td> <td>273</td> <td>311</td> <td>173</td> <td>340</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(うち障がい者)</td> <td>44</td> <td>0</td> <td>22</td> <td>30</td> <td>20</td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <th>項 目</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>● 全利用者</td> <td>406</td> <td>470</td> <td>467</td> <td>323</td> <td>523</td> <td>786</td> <td>4,515</td> </tr> <tr> <td>(うち障がい者)</td> <td>57</td> <td>133</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>27</td> <td>61</td> <td>503</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">利用実績月別（下半期）</p> <p style="text-align: center;"> ■ 全利用者 ■ うち障がい者 (単位：名) </p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>全利用者</th> <th>うち障がい者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月</td> <td>406</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>470</td> <td>133</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>467</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>323</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>523</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>786</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月		● 全利用者	443	0	273	311	173	340		(うち障がい者)	44	0	22	30	20	50		項 目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	● 全利用者	406	470	467	323	523	786	4,515	(うち障がい者)	57	133	29	30	27	61	503	月	全利用者	うち障がい者	10月	406	57	11月	470	133	12月	467	29	1月	323	30	2月	523	27	3月	786	61
項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																
● 全利用者	443	0	273	311	173	340																																																																
(うち障がい者)	44	0	22	30	20	50																																																																
項 目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																															
● 全利用者	406	470	467	323	523	786	4,515																																																															
(うち障がい者)	57	133	29	30	27	61	503																																																															
月	全利用者	うち障がい者																																																																				
10月	406	57																																																																				
11月	470	133																																																																				
12月	467	29																																																																				
1月	323	30																																																																				
2月	523	27																																																																				
3月	786	61																																																																				

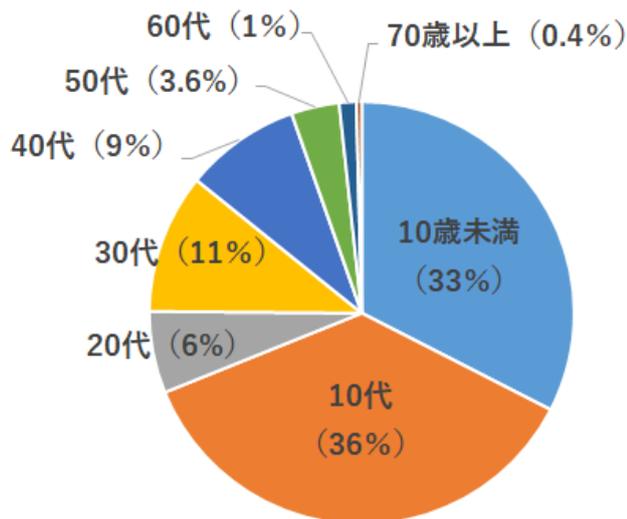
2 利用実績の内訳

- (1) 個人利用 3, 214名 (うち障がい者 5名)
 (2) 団体利用 647名 (うち障がい者347名)
 (3) イベント(教室等)利用 654名 (うち障がい者151名)

3 利用者の年代別割合

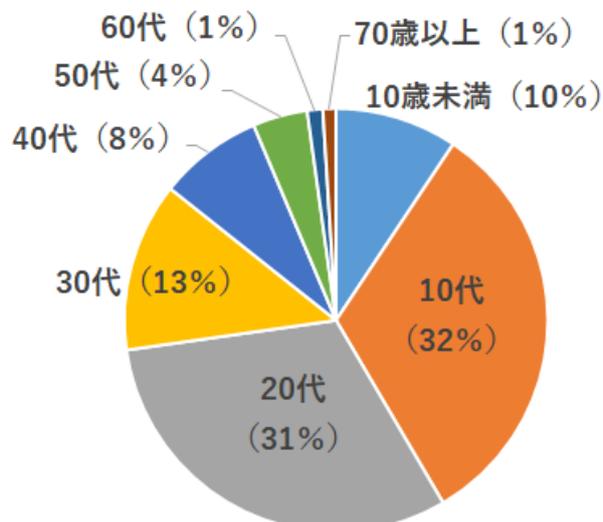
全利用者、障がい者ともに30代以下の利用が約8割を占めている。

【全利用者】



世代別	割合	利用者
10歳未満	33%	1,470名
10代	36%	1,640名
20代	6%	282名
30代	11%	483名
40代	9%	398名
50代	3.6%	165名
60代	1%	59名
70歳以上	0.4%	18名

【うち障がい者】



世代別	割合	利用者
10歳未満	10%	47名
10代	32%	162名
20代	31%	157名
30代	13%	65名
40代	8%	40名
50代	4%	21名
60代	1%	6名
70歳以上	1%	5名

	<p>4 登録団体 スポーツコンシェルジュのアウトリーチにより登録につながった障がい者団体は、10団体（令和4年5月末現在）。</p> <p>5 体験イベント・教室の事業実績 (1) 東京ヴェルディによる区委託事業 「事業所向け障がい者スポーツ教室」 13回実施 ・ 参加者180名（うち障がいのある方130名） ・ 雨天等で別途10回を屋内実施（参加者149名、うち障がいのある方117名。クライフコート利用者実績には含まれない） ※ 令和4年5月11日、都立花畑学園が校外学習として参加 (2) 指定管理者（スポーツ推進委員協力）による自主事業 「パラスポーツ×レクリエーション体験会」 16回実施 ・ 参加者375名（うち障がいのある方17名） ・ 雨天等中止8回 (3) 区主催事業「フットサル体験会」ほか 5回実施 ・ 参加者99名（うち障がいのある方4名） ・ 雨天等中止5回</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>1 平日の利用促進のため、スポーツコンシェルジュ等により小中学校特別支援学級や障がい者福祉サービス事業所への働きかけを継続する。 2 障がいのある方を運動・スポーツにつなげるための新規事業として、今年6月25日から東京ヴェルディによる「運動教室」と「サッカー教室」を開始する（いずれも個人向け、各事業年10回実施予定）。 3 花畑学園を中心とした近隣小学校との交流事業を検討している。</p>

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和4年6月27日

件 名	令和3年度あだちスポーツコンシェルジュ相談実績の報告について																														
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課																														
内 容	<p>令和3年度のあだちスポーツコンシェルジュ相談実績を次のとおり報告する。</p> <p>1 スポーツコンシェルジュ相談実績（令和3年度）</p> <table border="1" data-bbox="470 622 1310 1048"> <thead> <tr> <th>相談の内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ活動のできる場所に関する相談 【障がい者本人、家族等から】</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>スポーツの体験会実施に関する相談 【障がい者施設、団体等から】</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>スポーツ活動への指導者紹介に関する相談 【障がい者施設や団体から】</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 相談受付後の対応について</p> <p>(1) 障がい者本人や家族等からの相談対応 15件中、7件は活動先へとつながり、定期的に活動に参加している。残り8件は活動に向けて調整中である。</p> <p>ア 活動案内先 障がい者トランポリン教室（民間施設）・・・3件 障がい者水泳教室（東綾瀬温水プール）・・・3件 知的障がい者サッカークラブ・・・1件</p> <p>イ 相談者の属性 障がい種別では知的障がいの方からの相談割合が多く、年齢別では、30代までの若年層からの相談が86.7%となっている。</p> <p>[障がい種別相談実績] (件数)</p> <table border="1" data-bbox="470 1659 1082 1821"> <thead> <tr> <th>身体</th> <th>知的</th> <th>精神</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>[年齢別相談実績] (件数)</p> <table border="1" data-bbox="470 1895 1385 2065"> <thead> <tr> <th>10歳未満</th> <th>10代</th> <th>20代</th> <th>30代</th> <th>40歳以上</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	相談の内容	件数	スポーツ活動のできる場所に関する相談 【障がい者本人、家族等から】	15	スポーツの体験会実施に関する相談 【障がい者施設、団体等から】	6	スポーツ活動への指導者紹介に関する相談 【障がい者施設や団体から】	2	合 計	23	身体	知的	精神	合計	3	9	3	15	10歳未満	10代	20代	30代	40歳以上	合計	3	4	2	4	2	15
相談の内容	件数																														
スポーツ活動のできる場所に関する相談 【障がい者本人、家族等から】	15																														
スポーツの体験会実施に関する相談 【障がい者施設、団体等から】	6																														
スポーツ活動への指導者紹介に関する相談 【障がい者施設や団体から】	2																														
合 計	23																														
身体	知的	精神	合計																												
3	9	3	15																												
10歳未満	10代	20代	30代	40歳以上	合計																										
3	4	2	4	2	15																										

(2) 障がい者施設や団体からの相談対応
 ア アウトリーチによるスポーツ体験会の実施

実施内容	対応内容
<p>ボッチャ体験会</p>	<p>身体障がい者グループホーム施設 知的障がい者サークルなど 実施回数：3回 参加者数：延べ53名（施設職員含む）</p>
<p>卓球バレー体験会</p>	<p>高次脳機能障がい者通所施設 実施回数：2回 参加者数：延べ12名 ※卓球バレー 卓球台を使い、ネットを挟んで、1チーム6人ずつがいすに座り、ピンポン球を転がし相手コートへ3打以内で返すというゲーム。 体験会では人数を変える、卓球台のかわりに机を代用するなど、実施環境に合わせ工夫して実施した。</p> 
<p>カーレット体験会</p>	<p>高次脳機能障がい者通所施設 実施回数：1回 参加者数：7名 ※カーレット テーブルの上で行うカーリングのような競技。ウレタンマットに化粧布を敷いた上にストーンを滑らせ、敵のストーンにぶついたり進路を邪魔したりして最終的にどちらのストーンが的に近いかで得点を争う。</p> 

イ 指導者等の紹介

知的障がい者グループホームから、区プール施設利用時の指導補助について相談があり、初級障がい者スポーツ指導員養成講習会（区主催）受講者の人材バンク（足立区障がい者スポーツ指導員バンク）登録者を紹介した。

問 題 点 今後の方針	相談者の活動の定着化を図るため、パラスポーツ団体への支援制度の充実や障がい者スポーツ指導員の育成など、パラスポーツ推進のための環境整備を進める。
----------------	--

件 名	高野小学校跡地スポーツ施設の人工芝について		
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課		
内 容	<p>高野小学校跡地スポーツ施設基本計画における多目的広場へのロングパイル人工芝（65ミリ丈）の導入経緯等について、次のとおり報告する。</p>		
	<p>1 ロングパイル（65ミリ丈）を候補とした経緯</p> <p>次の事項を検討の上、ショートパイルと比較してロングパイル（65ミリ丈）が妥当と考えられるため。</p> <p>(1) クッション性が高くケガの低減が期待されることなどから、学校の校庭で導入されている。</p> <p>(2) 本施設における主な利用用途としているサッカー主体の施設では、一般的にロングパイル（65ミリ丈）を使用している。</p> <p>(3) 他自治体等の人工芝施設を確認したところ、ロングパイルが主流であった。</p> <p>(4) ショートパイルでも車イス競技には利用できない。</p>		
	<p>2 芝丈によるメリット等（スポーツ施設建設事業者等に確認）</p>		
	芝丈	メリット	デメリット
<p>ロングパイル （概ね55～65ミリ） ＜主な用途＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サッカー ・ 野球 ・ 学校校庭 	<ul style="list-style-type: none"> ・ クッション性が高く足の負担が軽減 ・ スライディング時等のケガの低減 ・ 多少摩耗しても十分なクッション性が保たれるので、長期利用可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車イスでの競技利用は不可 	
<p>ショートパイル （概ね10～30ミリ） ＜主な用途＞</p> <p>フィールドホッケー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ清掃等のメンテナンスが容易 ・ 車両の乗り入れが可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車イスでの競技利用は不可 ・ スライディング時等にケガが発生しやすい ・ 導入コスト等はロングパイルと同等かやや高額 	

	<p>3 障がい者の利用及びバリアフリートイレ</p> <p>(1) 多目的広場における車イスでの競技利用は想定していない。</p> <p>(2) 車イスでもウォーキング・ランニングコースは利用できることや、競技を観覧する車イス利用者が来場することが想定されることから、管理棟内にバリアフリートイレなどを整備する。</p> <p>(3) 本施設における障がい者が可能な利用想定は次のとおり（具体的な利用方法については今後検討していく）。</p> <table border="1" data-bbox="405 479 1436 725"> <tr> <td data-bbox="405 479 628 577">車イス</td> <td data-bbox="628 479 1436 577"> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウォーキング・ランニングコース ・ フライングディスク（多目的広場） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="405 577 628 725">車イス以外</td> <td data-bbox="628 577 1436 725"> <ul style="list-style-type: none"> ・ グラウンド・ゴルフ（多目的広場） ・ ブラインドサッカー（多目的広場） ・ フライングディスク（多目的広場） </td> </tr> </table> <p>4 車イスで競技可能な区西部の施設</p> <table border="1" data-bbox="405 824 1436 1218"> <tr> <td data-bbox="405 824 683 1167" rowspan="2">テニスコート</td> <td data-bbox="683 824 1436 972"> ハードコート <ul style="list-style-type: none"> ・ 上沼田東公園 ・ 江北公園 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="683 972 1436 1167"> 砂入り人工芝(競技利用として最適ではないが利用自体は可能) <ul style="list-style-type: none"> ・ 千住スポーツ公園 ・ 舎人公園 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="405 1167 683 1218">陸上競技場</td> <td data-bbox="683 1167 1436 1218"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 舎人公園 </td> </tr> </table>	車イス	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウォーキング・ランニングコース ・ フライングディスク（多目的広場） 	車イス以外	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラウンド・ゴルフ（多目的広場） ・ ブラインドサッカー（多目的広場） ・ フライングディスク（多目的広場） 	テニスコート	ハードコート <ul style="list-style-type: none"> ・ 上沼田東公園 ・ 江北公園 	砂入り人工芝(競技利用として最適ではないが利用自体は可能) <ul style="list-style-type: none"> ・ 千住スポーツ公園 ・ 舎人公園 	陸上競技場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 舎人公園
車イス	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウォーキング・ランニングコース ・ フライングディスク（多目的広場） 									
車イス以外	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラウンド・ゴルフ（多目的広場） ・ ブラインドサッカー（多目的広場） ・ フライングディスク（多目的広場） 									
テニスコート	ハードコート <ul style="list-style-type: none"> ・ 上沼田東公園 ・ 江北公園 									
	砂入り人工芝(競技利用として最適ではないが利用自体は可能) <ul style="list-style-type: none"> ・ 千住スポーツ公園 ・ 舎人公園 									
陸上競技場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 舎人公園 									
<p>問題点 今後の方針</p>										

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和4年6月27日

件 名	足立区スポーツ推進委員の委嘱について						
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課						
内 容	<p>令和2年4月1日付にて委嘱したスポーツ推進委員の任期が、令和4年3月31日をもって満了したため、「足立区スポーツ推進委員に関する規則」に基づき、以下のとおり新たに委員を委嘱した。</p> <p>なお、欠員となっていた地域へ6月1日付にて、1名追加委嘱されたため、合わせて報告する。</p> <p>1 委嘱期間 令和4年4月1日から令和6年3月31日まで（2年間）</p> <p>2 委員 別紙2「令和4・5年度 スポーツ推進委員名簿」のとおりに</p> <table border="1" data-bbox="456 1048 1066 1209"> <tr> <td>再 任</td> <td>75名</td> </tr> <tr> <td>新 任</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>83名</td> </tr> </table> <p>※ 現在、欠員となっている地区の1名については、委員の推薦を依頼している。</p> <p>3 推薦団体 足立区青少年対策地区委員会</p>	再 任	75名	新 任	8名	合 計	83名
再 任	75名						
新 任	8名						
合 計	83名						
今後の方針							

ブロック	No	氏名	地区対	備考
第一ブロック	1	山崎 みえ子	常東	
	2	竹内 良司	常東	
	3	亀村 勉	常東	
	4	大山 幸江	第3	
	5	右高 伴子	第3	
	6	寺澤 昌記	第3	
	7	遠藤 富美恵	第4	
	8	鈴木 聡子	第4	
	9	右ノ子 真	第5	
	10	川口 範	第5	
第二ブロック	11	高松 恵	江南	
	12	石崎 由紀子	江南	
	13	茂出木 幸子	新田	
	14	仲佐 勇治	新田	
	15	鈴木 隆之	江北	
	16	瀬口 広子	江北	
	17	持田 勤	江北	
	18	荒川 祥司	鹿浜	
	19	松沢 幸雄	鹿浜	
	20	中野 正恵	鹿浜	
	21	石塚 祐二	鹿浜	
	22	小澤 良平	鹿浜	新任
三ブロック	23	飯ヶ谷 美恵	興本	
	24	菑沢 信子	興本	
	25	白石 信幸	興本	新任
	26	松下 豊臣	第7	
	27	岡田 真由美	第7	新任
	28	渡部 恭一	第10	
	29	渡辺 美香	第10	
	30	飯田 直樹	第10	
	31	今石 潤	第11	
	32	石川 浩二	第11	新任
	33		第11	欠員
	34	森 美枝	西新井	
	35	大内 昭子	西新井	
	36	鈴木 美舟	西新井	
	37	松本 洋子	西新井	
	38	竹橋 司	西新井	
	39	家富 知美	西新井	新任

ブロック	No	氏名	地区対	備考
第四ブロック	40	田中 明久	中央南	
	41	近藤 尚登	中央南	
	42	西方 雅良	弘道	
	43	森田 和美	弘道	
	44	大庫 利之	中央	
	45	森本 一郎	中央	
	46	原元 隆光	中央	
	47	下田 康行	綾瀬	
	48	伊原 次郎	綾瀬	
	49	神谷 秀行	綾瀬	
	50	山野 一郎	綾瀬	
	51	太田 幸司	綾瀬	
	52	大江 英樹	綾瀬	
	53	小林 伸康	綾瀬	新任
	54	羽住 敏久	中川	
第五ブロック	55	井門 明洋	中川	
	56	星野 英雄	神明	
	57	堀内 昇治郎	神明	
	58	石田 正次	神明	
	59	牧 健一郎	佐野	
	60	赤荻 基納	佐野	
	61	北嶋 英司	佐野	新任：6/1委嘱
	62	小笠原 光	保塚	
	63	庄司 公七	保塚	
	64	鈴木 敏夫	保塚	
	65	對馬 時政	保塚	
	66	永島 光荣	花畑	
	67	飯島 正明	花畑	
	68	小倉 史子	花畑	
第六ブロック	69	野澤 智子	竹の塚	
	70	石丸 亜佐子	竹の塚	
	71	浅利 栄子	竹の塚	
	72	久保田 由紀子	竹の塚	
	73	山内 清光	竹の塚	
	74	小林 祐子	竹の塚	
	75	伊藤 彰啓	竹の塚	新任
	76	上野 美雪	伊興	
	77	草野 有子	伊興	
	78	柳原 多津子	伊興	
	79	野原 和也	伊興	
	80	本多 正道	伊興	
	81	多々良 晴美	舎人	
	82	福田 陽子	舎人	
	83	平柳 克芳	舎人	
	84	加藤 英男	舎人	

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和4年6月27日

件 名	令和3年度「あだち電子図書館」の実績について																																
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室中央図書館																																
内 容	<p>令和3年7月20日に運用を開始した「あだち電子図書館」について、令和4年3月31日現在の状況を報告する。</p> <p>1 利用登録者数 4,206人</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">年代</th> <th style="width: 10%;">未就学児</th> <th style="width: 10%;">小中学生</th> <th style="width: 10%;">16 ～ 19 歳</th> <th style="width: 10%;">20 代</th> <th style="width: 10%;">30 代</th> <th style="width: 10%;">40 代</th> <th style="width: 10%;">50 代</th> <th style="width: 10%;">60 代</th> <th style="width: 10%;">70 代 以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合%</td> <td>1.4</td> <td>10.3</td> <td>1.4</td> <td>7.2</td> <td>20.1</td> <td>28.7</td> <td>17.7</td> <td>8.9</td> <td>4.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 登録者の割合が最も高い年代は40代で、30代、50代の順に続く。30代から50代で全体の約66%を占めている。 ※ 小・中学生以下の割合は全体の約12%程度。</p> <p>2 累計貸出冊数 13,680冊</p> <p>3 貸出回数上位50点の分野別内訳 貸出状況については、「子ども（幼児から中学生まで）」「子育て世代」関連の貸出しが大きな割合を占めている。</p> <div style="text-align: center;"> <p>貸出回数上位50点の分野別内訳</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <caption>貸出回数上位50点の分野別内訳</caption> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>絵本・図鑑・読み物【幼児～小学生向け】</td> <td>46%</td> </tr> <tr> <td>学習関連・ライトノベル【主に中学生向け】</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>育児・料理【主に子育て世代向け】</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>ガイドブック</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>小説・エッセイ</td> <td>9%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年代	未就学児	小中学生	16 ～ 19 歳	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代 以上	割合%	1.4	10.3	1.4	7.2	20.1	28.7	17.7	8.9	4.3	分野	割合	絵本・図鑑・読み物【幼児～小学生向け】	46%	学習関連・ライトノベル【主に中学生向け】	20%	育児・料理【主に子育て世代向け】	15%	ガイドブック	10%	小説・エッセイ	9%
年代	未就学児	小中学生	16 ～ 19 歳	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代 以上																								
割合%	1.4	10.3	1.4	7.2	20.1	28.7	17.7	8.9	4.3																								
分野	割合																																
絵本・図鑑・読み物【幼児～小学生向け】	46%																																
学習関連・ライトノベル【主に中学生向け】	20%																																
育児・料理【主に子育て世代向け】	15%																																
ガイドブック	10%																																
小説・エッセイ	9%																																

4 貸出回数上位5点

絵本（うごくえほんを含む）をはじめ、子どもや保護者向けの書籍の貸出しが進んでいる。

No	書籍名	出版社	貸出回数
1	これだけは知っておきたい言葉づかい	笠間書院	132
2	あなぐまのクリーニング屋さん（うごくえほん）	モーニング	86
3	カット・スケッチの描き方	仮説社	80
4	おおどろぼうごーちゃん（うごくえほん）	モーニング	65
5	うえへまいりまあす（うごくえほん）	モーニング	64

5 電子書籍蔵書数

3, 022冊

※ 「青空文庫」など、契約上無料で付帯される書籍を除く

※ 令和4年度は2, 000冊を購入予定

問題点
今後の方針

小・中学生以下の利用登録者数の割合が他世代と比較して低いことから、令和4年度も主なターゲットを「子ども」「子育て世代」として蔵書の拡大に努めるとともに、小・中学校向けのPRを強化していく。

区 民 委 員 会 報 告 資 料

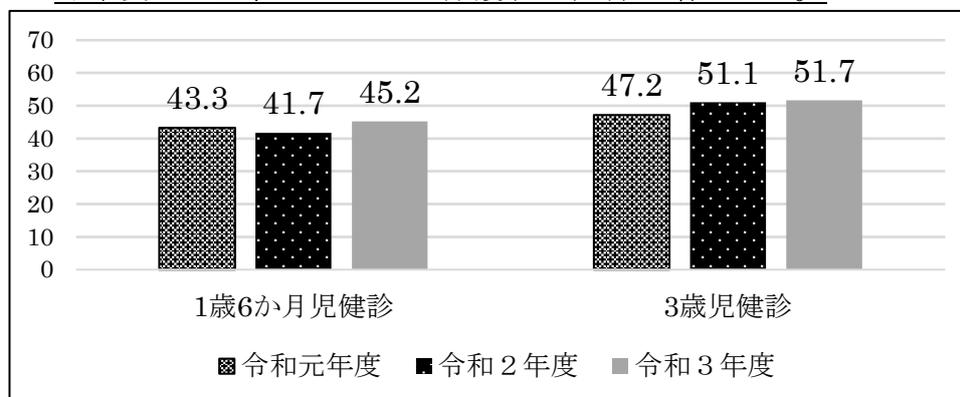
令和4年6月27日

件 名	「あだちはじめてえほん」事業の令和3年度実績報告について																																										
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室中央図書館																																										
内 容	<p>乳幼児の読書習慣定着のため、健診に合わせて絵本を配付する「あだちはじめてえほん」事業について、令和3年度の実績を報告する。</p> <p>1 実施状況</p> <p>(1) 3～4か月児健診 健診時に絵本を配付する。 ア 配付対象者数 3,311人 ※ 健診対象者4,331人のうち、個別に医療機関で健診を受診した方(1,020人)を除く。 イ 絵本配付冊数 3,304冊 ウ 配付率 99% エ 配付している絵本(希望する一冊を配付)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">書名</th> <th style="width: 25%;">配付冊数</th> <th style="width: 25%;">割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ねんねのじかん</td> <td style="text-align: center;">1,207冊</td> <td style="text-align: center;">36.5%</td> </tr> <tr> <td>くつついた</td> <td style="text-align: center;">806冊</td> <td style="text-align: center;">24.4%</td> </tr> <tr> <td>いないいないばあ</td> <td style="text-align: center;">701冊</td> <td style="text-align: center;">21.2%</td> </tr> <tr> <td>じゃあじゃあびりびり</td> <td style="text-align: center;">590冊</td> <td style="text-align: center;">17.9%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">3,304冊</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 1歳6か月児健診 図書館、児童館、子育てサロンにおいて、健診の案内に同封した引換券と交換して絵本を配付する。 ア 配布対象者数 4,818人 イ 絵本引換冊数 2,687冊 ウ 引換率 56% ※ <u>令和4年1～3月に一部の施設(児童館、子育てサロン)が臨時休館となったため、前年度(58%)を下回った。</u> エ 配付している絵本(希望する一冊を配付)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">書名</th> <th style="width: 25%;">配付冊数</th> <th style="width: 25%;">割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なでなでなで</td> <td style="text-align: center;">816冊</td> <td style="text-align: center;">30.4%</td> </tr> <tr> <td>くまさんくまさんなにみてるの?</td> <td style="text-align: center;">711冊</td> <td style="text-align: center;">26.5%</td> </tr> <tr> <td>しろくまちゃんのほっとケーキ</td> <td style="text-align: center;">550冊</td> <td style="text-align: center;">20.5%</td> </tr> <tr> <td>きんぎょがにげた</td> <td style="text-align: center;">310冊</td> <td style="text-align: center;">11.5%</td> </tr> <tr> <td>くだもの</td> <td style="text-align: center;">160冊</td> <td style="text-align: center;">6.0%</td> </tr> <tr> <td>ごろごろにゃーん</td> <td style="text-align: center;">140冊</td> <td style="text-align: center;">5.1%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">2,687冊</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> </tbody> </table>	書名	配付冊数	割合	ねんねのじかん	1,207冊	36.5%	くつついた	806冊	24.4%	いないいないばあ	701冊	21.2%	じゃあじゃあびりびり	590冊	17.9%		3,304冊	100.0%	書名	配付冊数	割合	なでなでなで	816冊	30.4%	くまさんくまさんなにみてるの?	711冊	26.5%	しろくまちゃんのほっとケーキ	550冊	20.5%	きんぎょがにげた	310冊	11.5%	くだもの	160冊	6.0%	ごろごろにゃーん	140冊	5.1%		2,687冊	100.0%
書名	配付冊数	割合																																									
ねんねのじかん	1,207冊	36.5%																																									
くつついた	806冊	24.4%																																									
いないいないばあ	701冊	21.2%																																									
じゃあじゃあびりびり	590冊	17.9%																																									
	3,304冊	100.0%																																									
書名	配付冊数	割合																																									
なでなでなで	816冊	30.4%																																									
くまさんくまさんなにみてるの?	711冊	26.5%																																									
しろくまちゃんのほっとケーキ	550冊	20.5%																																									
きんぎょがにげた	310冊	11.5%																																									
くだもの	160冊	6.0%																																									
ごろごろにゃーん	140冊	5.1%																																									
	2,687冊	100.0%																																									

2 令和3年度アンケート結果

(1) 子どもの読書冊数は、身近な大人の読書冊数と関係があることを知っている保護者の割合

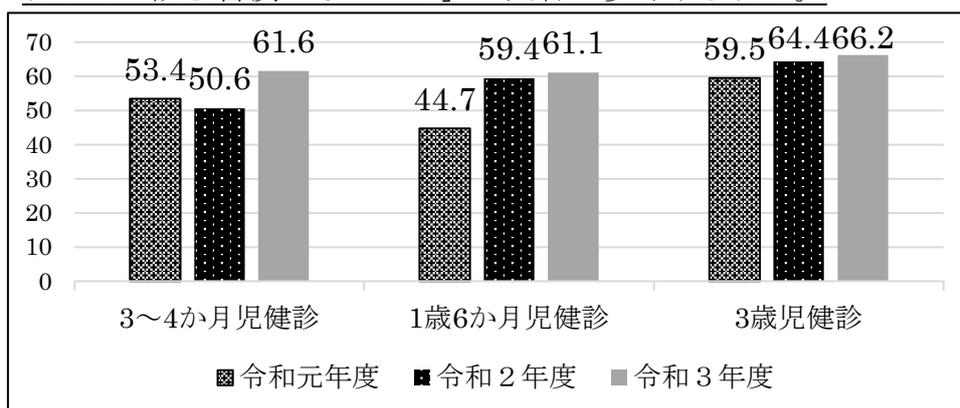
昨年度に比べ、知っている保護者の割合は増加した。



(2) ほとんど本を読まない保護者の割合

昨年度に比べ、本を読まない保護者の割合が増加した。

また、その理由について質問したところ、「時間がない」「これまでに読む習慣がなかった」の回答が多くみられた。



3 新型コロナウイルス感染症への対応

1～3月に実施予定であった3～4か月児健診が一部中止となり（該当者：853名）、健診会場で絵本の配付ができなかった。

本を受け取れなかった方には、代替措置として区立図書館での配付または郵送での配付を実施した（3月末現在、85冊を配布）。

1 ほとんど本を読まない保護者への働きかけ

今後の方針

(1) 親子で図書館を利用するきっかけとなるよう、3～4か月児健診時の絵本の配付に合わせて、仮発行した図書館の貸出カードの配付を新たに開始した（配付予定数：約4,000件）。

(2) 子育てで時間がない中でも気軽に本を楽しめるよう、「あだちはじめてえほん」事業に合わせて、「あだち電子図書館」のPRを行い、利用を促進していく。

(3) 身近な施設で気軽に本を楽しめるよう、読み語りイベントを中心としたアウトリーチ事業や、子育て世代をターゲットにしている3分野連携事業を実施していく。